



「追い出し猫」
さくら

「冬には牛舎も大掃除!」

厳しい寒さが続きますが、水田や飼料畑の作業が少ない冬の期間は、ストレスが多い夏場に備えたお掃除の好機です。管内で見かけた、2つのお掃除事例を紹介します。



Before

送風機のお掃除

After

送風機のホコリを払うと、家畜に当たる風速がアップします。

この事例では、送風機のお掃除をしたことで、2m先で計測した風速が2m/秒から4m/秒へと大幅に改善されました。

余分なホコリを落とすとモーターの負荷も軽くなり、電気代の節約にもなります。



床・壁にこびりついた牛糞等はサシバエの卵の越冬場所になります。

牛舎の隅々のお掃除

夏場のサシバエ被害を減らすため、牛舎や堆肥舎の、隅々のお掃除を行います。

サシバエは、動かない場所にある牛糞等に産卵します。冬場にお掃除をしておけば、夏場に発生するサシバエの数を減らすことができます。

サシバエは牛白血病ウイルスを伝播する他、吸血による痛みで牛が落ち着かなくなるため、ミルクカーの蹴り落としなどの原因にもなります。



水槽下の粗飼料や敷料等が堆積している所にもサシバエは産卵します。

吸血後のサシバエ



冬場に行うサシバエ対策は、牛白血病対策としても非常に有効です。

「子牛を暖めよう！」



寒さも厳しさを増し、子牛の風邪や下痢が心配な季節になりました。次のようなポイントに気をつけ、元気な子牛を育てましょう。

冷たい風が直接子牛の体に当たらないようにする
床面が乾いた状態を維持する。ぬれた床は体温を奪います。
保温性を高める工夫をする

以下に、管内で見かけた簡単にできる子牛を暖める工夫を紹介します。



人間の古着で作れば
経済的です！



マフラー 子牛にも防寒具

カーフジャケットよりも手軽な防寒具として、ネックウォーマーを使って子牛を暖めてはいかがでしょうか。

子牛の体表温度は、**ネックウォーマー下では20**、**それ以外の部分では10** でした。

ネックウォーマーは糞尿で汚れることも少ないため衛生的で、洗濯も簡単です。

全ての子牛にネックウォーマーを着けた農家では、「冬場の子牛の病気が減った」との声も聞かれました。

冷たい風を防ぐ

右の牛舎では、プラスチックダンボール（プラダン）を使って子牛に当たる風を防いでいます。

プラダンのいいところ

- ・安価（1800mm×900mmで1000円程度）
- ・中空構造で断熱性が高い
- ・軽くて加工がしやすい
- ・水濡れに強く、消毒も可能
- ・長持ち

自分の牛舎に合わせたちょっとした工夫で、より暖かな居心地の良い牛舎になります。



カーフジャケットと合わせれば、
防寒効果

いろいろな防寒対策を組み合わせることで、冬場の子牛の様子は劇的に変わります。

冬場に手間をかけた分、子牛は早く大きく成長してくれることでしょう。

栃木県県央家畜保健衛生所

TEL:028-689-1200 FAX:028-689-1279